

平成23年度
実施事業

事務事業名 登別・白石・海老名友好交流事業

区分	No	名称
章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	1	国内における交流の場と機会の拡大
小分類	1	国内の様々な地域との交流の推進
主要な施策	2	姉妹都市交流等の推進
事務事業番号	006	事業開始年度 昭和 60 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	総務部	グループ名	総務グループ
-----	-----	-------	--------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	トライアングル交流宣言を行った白石市、海老名市との友好交流を図る。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	白石市、海老名市との各種交流事業の調整を行う。 交流事業を行っている登別市姉妹都市等都市間交流協会に対して補助金を交付する。 【事業実績】 ・少年スポーツ交流事業 ・登別市物産展 ・小学生絵画作品交流事業 ・海老名市民ツアーの受入 ・ふるさと豆記者訪問事業 ・三市交流野球大会 ・ふるさとを語る交流事業 ・職員研修交流
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	三市の各種団体間交流事業の調整を行い補助することで、市民レベルの交流の促進を図っていく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市補助金等の事務取扱に関する規則

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	210	2,538	3,540	3,540	3,540
事業費 合計			210	2,538	3,540	3,540	3,540

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	事業実施件数（年度ベース）	件	目標値	8	8	8	8	8
			実績値	8	8			
			目標値					
			実績値					

現況 《Check》

現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》
<p>民間団体でも各種交流事業が行われてきたが、団体間の調整や相手方行政主体との調整・交流など、市に一定の役割が求められていた。</p> <p>各交流事業実行委員会への補助金を所管するグループ毎に予算計上してきたが、全体の把握が難しい。</p>	<p>市が交流事業の調整などを担うことで、民間団体と連携して円滑な交流事業を実施することができた。</p> <p>平成23年度より姉妹都市交流を所管する総務グループが登別市姉妹都市等都市間交流協会へ全交流事業の補助金を支出し、協会が各事業への補助金の振り分けを行うことで補助金全体の把握が容易になった。</p>

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	→	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 行政間での調整が必要である以上、市が主体となって行うべきであると考えられる。
	→	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	→	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	→	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	→	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 防災の観点などから自治体間の結びつきが重要視される社会情勢から、トライアングル交流を図っていく必要性は高いと考える。
	→	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	→	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	→	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	→	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 交流内容や協議内容が様々な分野に及ぶため、各方面と連携の取れる市で実施することが効率的であると考えられる。
	→	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	→	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	→	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	→	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 訪れた市民ツアー団からの感謝の声や、交流の意義に賛同し協力いただいた市民や団体の声から成果を感じている。
	→	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	→	目に見える形で成果があがっている	
	→	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	平静23年度より二市から三市での交流へと事業が拡大された。今後は、より市民レベルの交流強化を図っていくため必要な事業である。
----	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
----	----	--